



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 カシオ計算機株式会社

コード番号 6952 URL <http://casio.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 梶尾 和雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 財務・IR担当 (氏名) 高木 明德

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 03-5334-4852

平成26年12月2日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 159,995 | 5.5 | 15,815 | 49.4 | 16,391 | 66.9 | 10,371 | 83.0 |
| 26年3月期第2四半期 | 151,679 | 5.0 | 10,584 | 31.2 | 9,822 | 34.2 | 5,668 | 30.1 |

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 12,648百万円 (21.4%) 26年3月期第2四半期 10,419百万円 (368.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 38.99 | 38.70 |
| 26年3月期第2四半期 | 21.08 | 21.07 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 363,128 | 181,364 | 49.9 |
| 26年3月期 | 366,964 | 185,256 | 50.5 |

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 181,236百万円 26年3月期 185,140百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 10.00 | — | 15.00 | 25.00 |
| 27年3月期 | — | 12.50 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 12.50 | 25.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 350,000 | 8.8 | 35,000 | 31.7 | 33,000 | 28.2 | 23,000 | 43.8 | 88.05 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) — 、除外 一社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年3月期2Q | 269,020,914 株 | 26年3月期 | 279,020,914 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期2Q | 7,795,447 株 | 26年3月期 | 10,181,415 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年3月期2Q | 265,962,766 株 | 26年3月期2Q | 268,847,817 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当上半期における内外経済は、景気は緩やかな回復基調にあるものの、個人消費の足踏み感や新興国経済の減速懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比5.5%増の1,599億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが1,348億円、システムが198億円、その他が52億円となりました。

時計は「G-SHOCK」「BABY-G」といったブランドが、アジアや中国などを中心に国内外で好調に推移し大幅な増収となりました。中でも世界初のGPSハイブリッド電波ソーラーを搭載した「G-SHOCK」の新製品は発売以来、順調に売上を拡大しました。また、女性向けメタルアナログウォッチ「SHEEN」が中国を中心に海外で売上を拡大しました。電子辞書と電卓も好調に推移し売上を拡大しました。

損益につきましては、コンシューマは226億円の営業利益となりました。時計は「G-SHOCK」を中心に高価格帯の製品ミックスの拡大、電子辞書と電卓の売上拡大、デジタルカメラは独自のEX-TRシリーズを中心にハイエンド製品の拡大により利益を拡大しました。システムは新規事業の遅れ及びプロジェクター事業の収益悪化を主因として、48億円の営業損失、その他は1億円の営業損失となりました。この結果、調整後の連結合計として158億円の営業利益となりました。また、経常利益は163億円、四半期純利益は103億円の大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金等の減少などにより、前連結会計年度末比38億円減少の3,631億円となりました。純資産は、前連結会計年度末比38億円減少の1,813億円となりました。その結果、自己資本比率は49.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは86億円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは82億円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは69億円の支出となり、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比54億円減少の1,087億円となりました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的且つ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での平成27年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成26年5月7日公表）に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を生かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

(注) 業績見通しについて

①為替水準は1US\$=100円、1ユーロ=130円を想定しております。

②業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

この変更による影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 90,759 | 69,354 |
| 受取手形及び売掛金 | 50,633 | 45,412 |
| 有価証券 | 26,001 | 32,611 |
| 製品 | 35,469 | 37,731 |
| 仕掛品 | 5,314 | 5,492 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,320 | 7,263 |
| その他 | 29,164 | 38,759 |
| 貸倒引当金 | △525 | △534 |
| 流動資産合計 | 244,135 | 236,088 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 36,924 | 36,924 |
| その他(純額) | 27,021 | 25,790 |
| 有形固定資産合計 | 63,945 | 62,714 |
| 無形固定資産 | | |
| | 6,075 | 6,085 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 30,301 | 37,811 |
| 退職給付に係る資産 | 9,621 | 10,064 |
| その他 | 12,964 | 10,444 |
| 貸倒引当金 | △77 | △78 |
| 投資その他の資産合計 | 52,809 | 58,241 |
| 固定資産合計 | 122,829 | 127,040 |
| 資産合計 | 366,964 | 363,128 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 39,407 | 27,812 |
| 短期借入金 | 4,768 | 5,130 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 28,749 | 28,637 |
| 1年内償還予定の社債 | 7,366 | 22,221 |
| 1年内償還予定の新株予約権付社債 | 250 | 250 |
| 未払法人税等 | 2,755 | 2,455 |
| 製品保証引当金 | 771 | 778 |
| その他 | 38,044 | 43,139 |
| 流動負債合計 | 122,110 | 130,422 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 15,000 | — |
| 新株予約権付社債 | — | 10,048 |
| 長期借入金 | 30,000 | 30,000 |
| 退職給付に係る負債 | 860 | 826 |
| その他 | 13,738 | 10,468 |
| 固定負債合計 | 59,598 | 51,342 |
| 負債合計 | 181,708 | 181,764 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 48,592 | 48,592 |
| 資本剰余金 | 65,703 | 65,058 |
| 利益剰余金 | 70,447 | 66,460 |
| 自己株式 | △8,603 | △10,140 |
| 株主資本合計 | 176,139 | 169,970 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,335 | 7,928 |
| 繰延ヘッジ損益 | △49 | — |
| 為替換算調整勘定 | △2,577 | △1,838 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 5,292 | 5,176 |
| その他の包括利益累計額合計 | 9,001 | 11,266 |
| 少数株主持分 | 116 | 128 |
| 純資産合計 | 185,256 | 181,364 |
| 負債純資産合計 | 366,964 | 363,128 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 151,679 | 159,995 |
| 売上原価 | 88,787 | 89,110 |
| 売上総利益 | 62,892 | 70,885 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料手当及び賞与 | 16,460 | 17,006 |
| その他 | 35,848 | 38,064 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 52,308 | 55,070 |
| 営業利益 | 10,584 | 15,815 |
| 営業外収益 | | |
| 為替差益 | — | 783 |
| その他 | 793 | 687 |
| 営業外収益合計 | 793 | 1,470 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 605 | 457 |
| 為替差損 | 683 | — |
| その他 | 267 | 437 |
| 営業外費用合計 | 1,555 | 894 |
| 経常利益 | 9,822 | 16,391 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | — |
| 特別利益合計 | 1 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 147 | 238 |
| 減損損失 | — | 1,274 |
| 役員退職慰労金 | 2,127 | — |
| 特別損失合計 | 2,274 | 1,512 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,549 | 14,879 |
| 法人税等 | 1,870 | 4,496 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 5,679 | 10,383 |
| 少数株主利益 | 11 | 12 |
| 四半期純利益 | 5,668 | 10,371 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 5,679 | 10,383 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,327 | 1,593 |
| 繰延ヘッジ損益 | 48 | 49 |
| 為替換算調整勘定 | 2,365 | 739 |
| 退職給付に係る調整額 | — | △116 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △0 | △0 |
| その他の包括利益合計 | 4,740 | 2,265 |
| 四半期包括利益 | 10,419 | 12,648 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 10,408 | 12,636 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 11 | 12 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,549 | 14,879 |
| 減価償却費 | 4,023 | 4,156 |
| 減損損失 | — | 1,274 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 146 | 238 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △97 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | — | △72 |
| 受取利息及び受取配当金 | △511 | △505 |
| 支払利息 | 605 | 457 |
| 為替差損益 (△は益) | 381 | △1,182 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 5,676 | 5,681 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 8,914 | △2,433 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △7,802 | △11,692 |
| その他 | △100 | 1,306 |
| 小計 | 18,784 | 12,107 |
| 利息及び配当金の受取額 | 475 | 587 |
| 利息の支払額 | △587 | △431 |
| 法人税等の支払額 | △2,521 | △3,641 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 16,151 | 8,622 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,624 | △197 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,311 | 4,956 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,806 | △2,281 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3 | 2 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,545 | △1,771 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △5,983 | △12,006 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 18,001 | 3,000 |
| その他 | △16 | 12 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 7,341 | △8,285 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △30 | 68 |
| 長期借入れによる収入 | 5,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △5,000 | — |
| 社債の発行による収入 | — | 10,012 |
| 自己株式の取得による支出 | △6 | △12,507 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △379 | △472 |
| 配当金の支払額 | △5,377 | △4,033 |
| その他 | — | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △5,792 | △6,932 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3,109 | 1,189 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 20,809 | △5,406 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 97,350 | 114,129 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 118,159 | 108,723 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

①自己株式の取得

当社は、平成26年7月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が12,500百万円増加しております。

②自己株式の消却

当社は、平成26年7月7日開催の取締役会決議に基づき、平成26年7月31日に自己株式の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が645百万円、利益剰余金が10,325百万円、自己株式が10,970百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|----------------------|---------|--------|-------|---------|--------------|--------------------------------|
| | コンシューマ | システム | その他 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 124,202 | 20,920 | 6,557 | 151,679 | — | 151,679 |
| (2) セグメント間の内部 売上高 | 2 | 24 | 1,833 | 1,859 | △1,859 | — |
| 計 | 124,204 | 20,944 | 8,390 | 153,538 | △1,859 | 151,679 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 15,221 | △924 | △456 | 13,841 | △3,257 | 10,584 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,257百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,257百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|----------------------|---------|--------|-------|---------|--------------|--------------------------------|
| | コンシューマ | システム | その他 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 134,865 | 19,864 | 5,266 | 159,995 | — | 159,995 |
| (2) セグメント間の内部 売上高 | 1 | 18 | 3,344 | 3,363 | △3,363 | — |
| 計 | 134,866 | 19,882 | 8,610 | 163,358 | △3,363 | 159,995 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 22,649 | △4,811 | △149 | 17,689 | △1,874 | 15,815 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,874百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,874百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。